

2025年教育カウンセリング・オンライン公開講演会 参加者感想アンケートまとめ

秋田県教育カウンセラー協会

2025年12月14日(日) 13:30~15:30

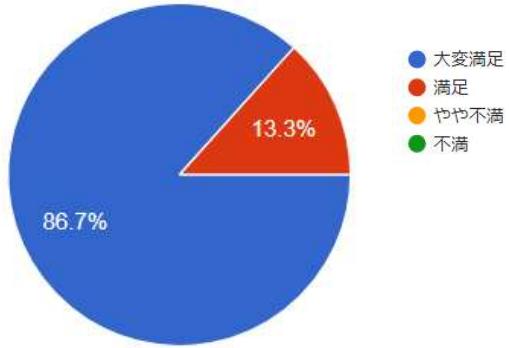
公開講演会テーマ

「児童生徒の自傷行為・オーバードーズの理解と支援
－ダメと言わない支援のススメ－」

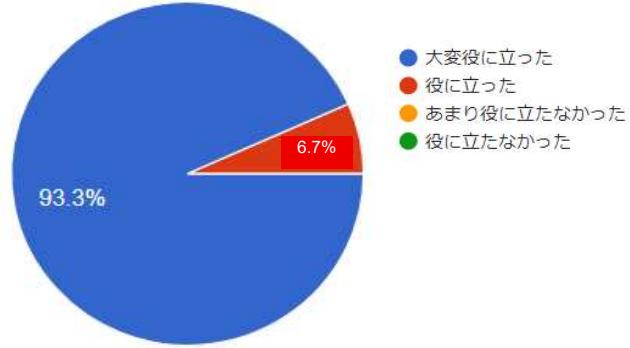
講師：嶋根 卓也先生

(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依存研究部
心理社会研究室長)

① 公開講演会全般について（回答数15名分）



② 公開講演会の内容について（回答数15名分）



③ 公開講演会の内容についての感想

- ❖ 青少年のオーバードーズについて理解が深まることで、最新の情報を得ながら支援のよりよい方法を考えていきたいと思いました。
- ❖ O Dを「行為」だけで捉えるのではなく、生徒の孤立や苦しさの表現として理解する視点がとても腑に落ちました。「ダメと言わない支援」や動機づけ面接の考え方は、学校現場で生徒との関係を切らずに支援を続けるうえで、改めて大切にしたい視点だと感じました。
- ❖ S Cをしていますが、ODを含めた自傷行為の対応で困難を感じるのは、対子どもではなくて、実は対大人（教員、保護者）だったりします。どうしても起きている現象にばかり目が行きがちで、子どもの苦しさを理解してもらうことが難しいです。「背景に何があるのか？」に注目して関わっていくことが大事であることが確認できてよかったです。

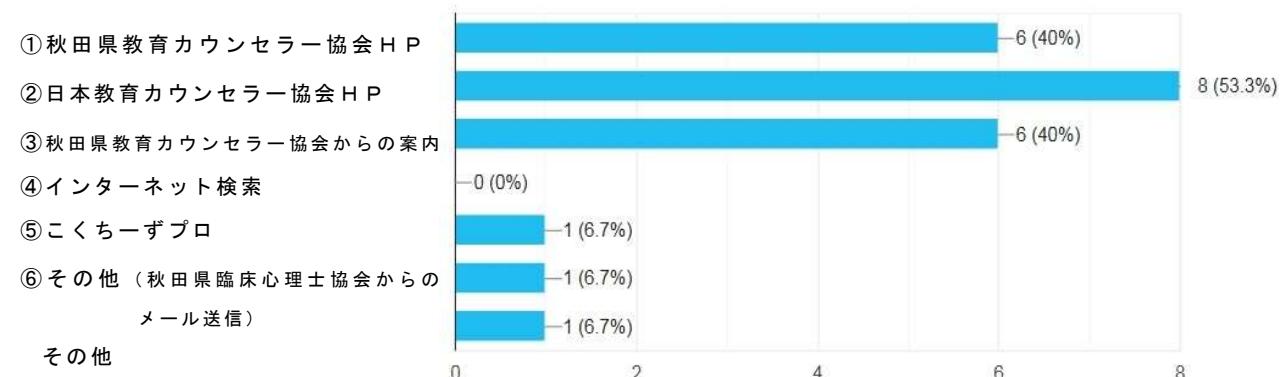
- ❖ 医薬品の話はなかなか内容が難しいことが多いですが、若年層に関わる参加者にどんな知識や注意が必要か、コンパクトにまとめてくださり、とてもわかりやすく、要点が絞られていた講義だったと思います。講師のお人柄も優しくて、親近感が持てました。ありがとうございました。
- ❖ 関心はあっても、状況が刻々と変わり最近情報を得ることが難しい分野だと思っていたが、情報を得られる場所をいくつも紹介していただき、自分で情報を得ていくことが重要だと思いました。基本を押さえつつも、現場で活動されているからこそ最新かつリアルな話題が多く、引き込まれました。依存症も自傷行為の一つという考え方、依存症全般への基本的なかかわり方を確認できました。回復へは趣味、仲間が大事。今は若年層のSNS依存と規制が問題になっていて、ようやく日本でも議論の端緒？ぐらいですが、何への依存でも背景を理解しようとしていきたいです。
- ❖ 有効な予防教育の在り方を示していただいたこと、支援をする上で貴重な教育資源に関する情報を提示していただいたこと、先生の出された質問にチャットで答える参加者参加型の形式で講演を進めていただき、充実した時間を過ごすことができました。
- ❖ まさに今知りた情報でした。どこに繋がったらしいのかの情報もとてもありがたかったです。
- ❖ 具体的な支援等も聞けて、すぐに活用できる知識を教えていただけたので、参加してよかったです。
- ❖ 支援者としての心構えや態度 改めて考える良い機会となりました。また、中学生で約2パーセントが経験あり…とても恐ろしく思いました。
- ❖ 嶋根先生、相談者として役に立つ貴重なお話をありがとうございました。かなり増加傾向と知りながら漠然としていたODをしている人について詳細を知ることができ、今後の対応について不安が軽くなりました。子どもたちの自死が増えつづけている理由がここにもあるような気がします。その子たちへの対応。ODをしている人だから・・・ということではありませんね。HPも見させていただきます。本日はありがとうございました。
- ❖ すごく具体的で、あっという間の2時間でした。ありがとうございます。
- ❖ とても分かりやすいお話でした。ありがとうございました。
地域にはドラッグストアがたくさんあり、いつでも何処でも薬を購入できる事も問題だと感じました。ODをしてしまうその気持ちに寄り添い、思いを聴いていきたいと思います。
- ❖ ODは遠いところの話ではなく、身近なこととして考えなければならない社会の課題だと感じて参加させていただきました。知っていた「つもり」だったことを改めて知りました。

- ❖ とても分かりやすいお話でした。
オーバードーズ、自傷行為等々「生きづらさ」を感じている子ども達の理解につなげたいと思います。

④オンライン開催に関するご意見やご要望について

- ❖ 今回の講義の第二弾を開催していただければ、ありがとうございます。
- ❖ 時期的にはもう少し早いとスクールカウンセリングにすぐに活用できたと思いますが、今からでも十分間に合います。
- ❖ 今回で2回目の参加になります。教育課題にマッチした研修の機会をいただき感謝しています。質問をチャットでも受けていただけたらよかったです。
- ❖ 地方から参加できるよう、今後もオンラインでの研修を設定していただけると幸いです。よろしくお願ひいたします。また、もし可能であれば研修修了証等を発行していただけるとありがとうございます。ご検討よろしくお願ひいたします。
- ❖ 自分はZoomに参加する事で精一杯です。資料の入手の仕方は全く分からず、今日の講演は共有画面のみでした。事前に紙の資料の販売があれば嬉しかったです。
- ❖ 参加しやすい。
- ❖ 内容がとても参考になりました。企画も運営もご難儀をおかけしました。ありがとうございました。

⑤今回の公開講演会を知ったきっかけについて（回答数15名分）（複数回答可）



◆ 今後受講したい講座のテーマや講師について

- ❖ 学級づくりと I C T 活用
- ❖ 医療や福祉分野からの不登校支援、校内教育支援センターの設置、学びの多様化学校
- ❖ 不登校支援について医療分野や福祉分野と学校の連携についての研修会があればと思います。医療分野や福祉分野の専門性の高い講師の話を聞きたいです。
- ❖ 不登校と絵画療法
- ❖ 通常学級の中の特別支援について（グレーゾーンの子どもたちへの対応）
- ❖ マルトリートメントにより誤学習をしてきた児童生徒への関わり方～保育園・幼稚園、小学校、中学・高校それぞれの段階における支援について～（児童発達支援センター嘱託医）
- ❖ 家族関係（過干渉、教育虐待などへのかかわり方）、H S C、H S P、特別支援教育

—— 公開講演会に参加された皆様、アンケートへのご協力をありがとうございました。

秋田県教育カウンセラー協会では、皆様方のご期待にお応えできるよう、さらに努力してまいりますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

